

年末警で啓発活動

少年消防クラブと女性消防団

12月29日(月)、ヨシヅヤ員弁店で少年消防クラブと女性消防団が年末警戒を実施しました。これは、年末年始の火災予防と地域の防火意識の向上を目的としています。参加した団員や子どもたちは、来店者にチラシやウエットティッシュなどの啓発物を手渡し、「火事に気を付けてください」と声をかけました。初めは緊張の面持ちだった子どもたちでしたが、あいさつを重ねるうちに表情もやわらぎ、最後まで配布をやり遂げました。



1.3. 緊張する子どもたちを女性団員が優しく後押し。当日は女性消防団3人と、少年消防クラブ7人で啓発活動を行いました 2. 入口付近で「まだかな～」と来店者を待ちます

1. 絵本漫才師のわかなさん 2. コミカルな読み聞かせに笑顔がこぼれます



たき 焚火の音と絵本の世界

にぎわいの森で読み聞かせを開催

1月18日(日)、にぎわいの森のピクニックゾーンで、限定イベント「焚火の広場」にあわせた絵本の読み聞かせが行われました。会場には親子連れを中心に多くの人が訪れ、椅子やシートでくつろぎながら楽しみました。来場者は「焚火の雰囲気がとても心地いい」「屋外での読み聞かせは貴重で、子どもたちも喜んでいた」と話し、焚火の暖かさに包まれ、子どもから大人まで物語の世界に引き込まれていました。

市と企業が連携し、地域の魅力を広く発信していきます



TRIPLE ONEと協定締結

SNSとデジタル発信で魅力を広く

12月17日(水)、いなべ市は株式会社 TRIPLE ONE と包括連携協定を結びました。同社のデジタルマーケティングの知見を生かし、市の魅力をより一層発信していくことで、観光客だけでなく、いなべ市で「働きたい」「暮らしたい」「関わりたい」と感じる人を増やします。今後は市内施設などの公式 SNS 運用支援、観光情報の発信強化や SNS 活用の実践講座などを検討し、地域の担い手づくりを進めています。

おいしくなあれ!

大豆からみそ作りを

1月15日(木)三里こども園で、4歳児と5歳児がみそ作りを行いました。園児たちが園庭で育てた大豆を使って、食育の一環として4年前からみそ作りに取り組んでいます。前日に園庭でゆでた大豆をつぶし、麹などと混ぜて熟成させます。園児たちは「豆をつぶすのがおもしろかった!」「食べるのが楽しみ!」と話していました。熟成させるための容器のふたを閉める時には「おいしくなりますように!」と全員で声をそろえていました。みそは秋まで園内で熟成させ、完成したら、園児たちのみそ汁づくりや、給食に使われるそうです。おいしそうになりますように!

1. 大豆からみそになる工程を聞く園児たち 2. ゆでた大豆をつぶす。思った以上に力が必要でした 3. つぶした大豆を麹と混ぜて団子にしました



聴覚に障がいのある山村さん。エンジンコンポーネント製造2部に所属



全国大会で銅賞

電子機器組立の種目で受賞

12月24日(水)、株式会社デンソーダ安製作所に勤務する山村拓也さんが、市長を訪問しました。山村さんは、10月に開催された第45回全国障害者技能競技大会に三重県代表として出場。省エネコントローラーの回路の作成を競い、優秀な成績を収めました。山村さんは、「競技を通じて、改めて安全と品質の大切さが分かりました。大会で学んだことを普段の業務や後輩指導に生かしたいです」と笑顔で話してくれました。

1. 横浜の大会に出場する高田さん 2. 京都の大会に出場する寺坂さん



全国大会に挑戦!

空手道石榑スポーツ少年団の2人が出場

石榑小学校3年生の高田悠華さんと大安中学校1年生の寺坂優那さんが、2、3月に行われる空手の全国大会に三重県代表の一員として出場します。両選手は形競技・組手競技の2種目で挑戦します。また、両選手は、「全国の場で正々堂々と勝負し、練習の成果を十分に発揮し、1戦でも多くコートに立てるよう頑張ります」と全国大会に向け意気込みを語り、闘志を燃やしていました。